

報道関係者各位

2026年4月21日
特別民間法人 中央労働災害防止協会

「第85回全国産業安全衛生大会 in 札幌」 9月16日～18日 札幌市で開催

～特別講演 北海道を中心に展開する地域密着型のコンビニエンスストア「セイコーマート」の株式会社セコマ 取締役会長 丸谷 智保氏に決定～

中央労働災害防止協会(略称：中災防、会長 十倉雅和・日本経済団体連合会 会長)は、令和8年9月16日(水)～18日(金)の3日間、北海道札幌市で「第85回全国産業安全衛生大会」を開催します。

講演やパネルディスカッションの詳細な内容、参加申込案内などの最新情報は4月1日より公開した「全国産業安全衛生大会特設ウェブサイト」にて順次お知らせしてまいります。

<https://jisha-taikai2026.com/>

中災防 全国大会

で 検索



札幌での現地開催は平成20年以来、18年ぶりで、北海きたえーる、札幌コンベンションセンター等の各施設において総合集會および分科会を行います。会期中は全国の企業・団体・教育機関等から10,000人の参加者を見込んでいます。

今回のテーマは「大地にみなぎる 安全・健康 決意の力」です。

初日の総合集會では、北海道を中心に地域密着型のコンビニエンスストア「セイコーマート」を展開する株式会社セコマ 取締役会長 丸谷 智保(またに ともやす)氏による特別講演「人口減少、高齢化と向き合う経営」を予定しており、独自のサプライチェーンを構築し、地域と共に歩む事業活動を通じた社会的な課題解決への取組み等についてお話しいただきます。

2日目、3日目の分科会では、広大な土地と豊かな自然を生かした北海道ならではの産業(農業、畜産業、食料品製造業等)における労働災害防止をテーマに「食を支える産業の安全を考える分科会」を新設するほか、化学物質の自律的管理における個人ばく露測定の実施について、改訂版ISO45001への円滑な移行方法、若者のメンタルヘルスケアをテーマにしたパネルディスカッション等、有識者による専門的な講演30本、職場の労働災害防止や健康づくり等に取り組む企業・団体・教育機関による研究発表を190本予定しています。



主な講演、シンポジウム等の内容と演題(一部)

○旭川市旭山動物園 統括園長 坂東 元氏

「伝えるのは命 繋ぐのは命」

○独立研究者；NPO 学び足しデザイン工房 代表 美馬 のゆり氏

「AI時代の安全と多様性を問い直す」

○国立大学法人北海道大学 安全衛生本部 教授 川上 貴教氏

「なぜ北大の安全教育は学生に響くのか—AI時代にこそ必要な「人を護る」への意識改革」

○(株)大林組 専務執行役員 大阪本店長 兼 大阪本店建築事業部長 竹中 秀文 氏
「北海道ボールパーク建設の安全管理ーさまざまな課題克服と挑戦の日々ー」

○新設 食を支える産業の安全を考える分科会

シンポジウム「未来へつなぐ農業と農作業安全」

農林水産省による基調講演、JA、農研機構、農業法人によるパネルディスカッション
講演「スマート農業と食料安全生産の実現に向けた研究紹介」

国立大学法人北海道大学 大学院農学研究院 ビークルロボティクス研究室 准教授 楊 亮亮氏

分科会構成

- (1) 安全管理活動分科会(①～③)
- (2) マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会
- (3) ダイバーシティ等分科会
- (4) 機械・設備等の安全分科会
- (5) DX等分科会
- (6) 食を支える産業の安全を考える分科会(新設)
- (7) 安全衛生教育分科会
- (8) ゼロ災運動分科会
- (9) 交通安全分科会
- (10) 労働衛生管理活動分科会
- (11) 化学物質管理活動分科会
- (12) メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会

○参加者専用の閲覧サイトでは、現地開催プログラムとは別に、オンライン限定プログラムとして企業・団体等による研究発表、特別報告を約30本ご覧いただけます。

また、国内最大の安全衛生保護具・機器等の総合展示会「緑十字展(りよくじゅうじてん)2026ー働く人の安心づくりフェア」をつどーむ(札幌市)において同時開催します。入場無料で、会期中は約12,000人の来場を見込んでいます。今年も「安全衛生保護具体験道場」ほか、特別企画展も予定しております。全国から訪れる来場者との商談の場であるとともに、地元の他企業・異業種企業との情報交流の場となります。

全国産業安全衛生大会は、「全国産業安全大会」として1932(昭和7)年に開催して以来、働く人の安全・健康の確保と労働災害の撲滅を目的として、労働安全衛生に関する取組と知識を共有するとともに、最新の情報を提供する場となっています。詳細は[別紙]をご覧ください。

※この資料は、厚生労働記者会、労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会、自動車産業記者会、北海道経済記者クラブに配布しています。

連絡先

特別民間法人 中央労働災害防止協会

【担当】 教育ゼロ災推進部長 小宮山 弘樹

【照会先】 総務部 広報課長 岩田 良子 電話 03-3452-6449 E-mail koho@jisha.or.jp

全国産業安全衛生大会の 誕生とあゆみ

◆ 昭和 7 年、第 1 回『全国産業安全大会』 東京で開催

第 1 回の全国産業安全大会が、(財)産業福利協会の主催により、1932(昭和 7)年 11 月 21 日から 3 日間、東京・神田の学士会館で開催され、300 人を超える人たちであふれた。

安全運動の先駆者・蒲生俊文の司会のもと、“同志が集う”会場には熱気があふれ、互いに手を取り合っ

て安全運動を推進していこうとする連帯ムードが高まった。

大会の目的の一つである「連帯」は十分に果たされたが、それにも増して注目されるのは、その後ひたむきに継続されることとなる安全対策への「科学の導入」といえるものであった。

それは、「人間とは何か」にメスを入れ、人間の持つ弱点をカバーする方策に取り組もうとする科学的姿勢が、企業の中に生まれつつあることを示したものだ。



盛況な第 1 回全国産業安全大会 (昭和 7 年 11 月・東京・学士会館)

◆ 昭和 29 年、第 1 回『全国労働衛生大会』 東京で開催

1954(昭和 29)年 10 月 14、15 日の 2 日間、東京の読売ホールにおいて、全国から 1,300 人の主に労働衛生管理に携わる関係者が集い、第 1 回の全国労働衛生大会が開催された。

北は富士製鉄(株)室蘭製鉄所から南は旭化成(株)延岡工場まで、いずれも衛生管理の進んだ事業場からの発表であった。結核、鉛中毒、けい肺などの予防に関する報告が目立った。

◆ 昭和 44 年に『安全大会』と『労働衛生大会』 が一本化されて『全国産業安全衛生大会』に

1967 (昭和 42) 年の東京大会は、労働基準法 施行 20 周年記念大会として初めて安全、衛生両大会の合同開催となり、参加者は 13,000 人を数えた。

翌々年の 1969 年(昭和 44 年)には、現在の「全国産業安全衛生大会」の原型が生まれ、内容を拡充するとともに、「緑十字展」を盛大に開催することとなった。

2020 (令和 2) 年、第 79 回大会は札幌で開催予定だったが、コロナ禍で第二次世界大戦 に伴う中止以来の現地開催中止を余儀なくされ、2021 (令和 3) 年の東京での開催では新型コロナウイルス感染症の防止に配慮し、現地開催とオンライン配信を並行して行った。

今回、札幌での現地開催は 2008 (平成 20) 年以來 18 年ぶりとなるが、安全衛生管理や健康づくり等に関する最新かつ関心の高いテーマに加え、北海道ならではの産業(農業、畜産業、食料品製造業、食品加工業等)に着目した労働災害防止についてのプログラムを提供することとしている。



全国産業安全衛生大会・総合集会

総合展示会「緑十字展」の併催

◆ 緑十字展とは

安全衛生保護具、機械の本質安全化にかかる機器、職場環境・作業方法の改善機器、健康増進機器等の展示や装着体験セミナー等を通じて、職場の安全衛生を普及・促進し、労働災害の防止、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境づくりに関する安全と健康の最新情報と技術をご紹介するわが国最大級の展示会である。



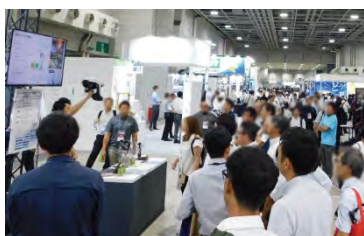
緑十字展 展示会場

◆ 第1回緑十字展は昭和43年、安全会館(東京都港区)で

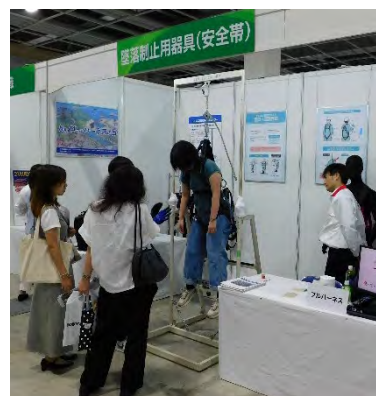
1968(昭和43)年9月30日から10月7日にかけて、東京都港区の安全会館および同会館前広場において、全国労働衛生週間にあわせて開催された。



翌1969(昭和44)年に名古屋市で開催された全国産業安全衛生大会から、毎年同時開催するようになり、現在に至っている。



展示ブース例



安全衛生保護具体験道場

参考資料：「安全衛生運動史・安全専一から100年」（中災防発行）

「日本労働災害推進会のあゆみ」（日本労働災害推進会発行）

全国産業安全衛生大会

大会テーマ 大地にみなぎる 安全・健康 決意の力



2026年

開催期間

9月16日水 → 18日金

オンライン限定プログラム視聴期間：2026年9月16日(水)～10月2日(金)
 (*現地開催プログラムとは異なる内容です。現地開催プログラムの配信は行いません)

会場

総合集会 (9月16日)
 北海きたえーる (北海道立総合体育センター)
 分科会 (9月17日、18日)
 札幌コンベンションセンターほか (北海道札幌市)

新料金

参加費

一般：1名 18,700円(税込) / 中災防賛助会員：1名 9,350円(税込)
 賛助会員加入回数1口につき1名適用

同時開催

緑十字展2026 つどいむ (札幌市スポーツ交流施設)



セコマ流サプライチェーンで解決!!

総合集会 特別講演

「人口減少、高齢化と向き合う経営」

株式会社セコマ
 取締役会長

丸谷 智保 氏

お申し込みは特設ウェブサイトから! 5月12日(火)より受付開始

<https://jisha-taikai2026.com/> 右のQRコードからアクセスできます



【主催】中央労働災害防止協会
 【協力】公益社団法人北海道労働基準協会連合会
 【協賛】各都道府県労働基準協会(連合会)、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会
 【後援】厚生労働省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、ILO駐日事務所、北海道、札幌市、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、北海道経済連合会、札幌商工会議所、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、一般社団法人北海道建設業協会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、公益社団法人日本保安用品協会、日本労働組合総連合会北海道連合会、一般社団法人北海道医師会、北海道社会保険労務士会、一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部、一般社団法人北海道警備業協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部 (順不同/予定、申請中含む)

全ての働く人々に安全・健康を ~ Safe Work, Safe Life ~

JISHA 中災防
 Japan Industrial Safety & Health Association



中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課
 TEL: 03-3452-6402 <https://www.jisha.or.jp/event/taikai/>

全国産業安全衛生大会は、全国から産業安全・労働衛生の関係者が一堂に集い、企業の研究発表や専門家による講演などを行う、国内最大の安全衛生イベントです。産業現場での安全と健康の確保を誓う安全文化の祭典に、ぜひご参加ください。

総合集会

開会式のほか、安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、特別講演を行います。

9月16日(水)

13:15～17:00 (11:30開場予定)

会場 北海きたえーる (北海道立総合体育センター)

[アクセス] 札幌市営地下鉄東豊線「豊平公園駅」地下連絡通路より徒歩約5分

[所在地] 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号

特別講演

『人口減少、高齢化と向き合う経営』

コンビニエンスストア「セイコーマート」を展開するセコマグループは、北海道を中心に独自のサプライチェーンを構築し、原材料の生産・調達から食品製造、物流、小売を効率的・効果的に結びつけることで、地域産品を積極的に活用した商品開発・製造を担い流通チャネルを道内外に拡大している。私たちがなぜ地域にこだわるのか、そして地域と共に歩み事業活動を通じて社会的な課題解決に取り組むことがブランド化と価値創造につながっていることを具体的事例と共に紹介する。

株式会社セコマ 取締役会長 **丸谷 智保 氏**

セコマ流サプライチェーンで解決!!

[プロフィール] 慶應義塾大学 法学部 卒業。1979年、株式会社北海道拓殖銀行に入行。1997年5月には同社営業企画部次長を務める。1998年10月、シティバンク、エヌ・エイに入行し、2005年11月には顧客・人材開発本部部長に就任。2007年3月、株式会社セイコーマート(現 株式会社セコマ)に入社。同年6月専務取締役、2008年3月取締役副社長を経て、2009年3月より代表取締役社長として経営を牽引した。2020年4月、同社代表取締役会長に就任。2025年3月からは同取締役会長(現職)を務める。現在、北海道経済同友会 代表幹事、北海道経済連合会 常任理事、北海道EU協会 会長、札幌スペイン王国名誉領事を兼任。

分科会

全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等、200題を超える多彩なプログラムを予定しています。

9月17日(木)、18日(金)

会場 札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター、カナモトホール

講演 安全衛生教育分科会 9月18日(金)



「伝えるのは命 繋ぐのは命」

旭川市旭山動物園
統括園長
坂東 元 氏

講演 ダイバーシティ等分科会 9月18日(金)



「AI時代の安全と多様性を問い直す」

独立研究者・NPO学び足しデザイン工房
代表
美馬 のゆり 氏

NEW

新分科会 9月17日(木) 札幌コンベンションセンター | 食を支える産業の安全を考える分科会



令和8年度は、広大な土地と豊かな自然を活かした北海道ならではの産業(農業、畜産業、食料品製造業等)における労働災害防止についてのプログラムを集めた「食を支える産業の安全を考える分科会」を新設します!

分科会名	日程	分科会名	日程
安全管理活動分科会①	9/17、18	食を支える産業の安全を考える分科会	9/17
安全管理活動分科会②	9/18	安全衛生教育分科会	9/17、18
安全管理活動分科会③	9/18	ゼロ災運動分科会	9/17
マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	9/17、18	交通安全分科会	9/17
ダイバーシティ等分科会	9/18	化学物質管理活動分科会	9/17
機械・設備等の安全分科会	9/17	労働衛生管理活動分科会	9/18
DX等分科会	9/18	メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会	9/17、18

講演や企業の研究発表の詳しい内容、参加お申込みについてなど、詳細は特設ウェブサイトをご確認ください。 <https://jisha-taikai2026.com/>

お問合せ先 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課 TEL:03-3452-6402



特設ウェブサイト



大会 Instagram

働く人の安全と健康を守る
製品・技術・ノウハウが大集合！



RYOKUJUJITEN

緑十字展

2026

入場
無料

働く人の安心づくりフェア in 札幌

期間 2026年9月16日（水）～18日（金）

場所 札幌市スポーツ交流施設（つどーむ）
〒007-0852 札幌市東区栄町885番地1

同時開催 第85回全国産業安全衛生大会
会場：北海道立総合体育センター
札幌コンベンションセンター 他



中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 緑十字展担当
03-3452-3343 <https://www.jisha.or.jp/ryokujujiten/>



皆様のご出展・ご来場を心よりお待ちしております！

RYOKUJUJITEN2026

安全衛生保護具・機器等の総合展示会

開催時間

9月16日（水）	10:00開場	17:00閉場
9月17日（木）	9:00開場	17:00閉場
9月18日（金）	9:00開場	15:00閉場



特別企画展（予定）

安全衛生保護具体験道場

正しく装着しないと本来の効果が発揮されない保護具。
保護具を知り尽くしたアドバイザーの手ほどきを受けながら、
日頃の疑問を解決し、正しい知識や装着方法を身につけましょう。

北海道ヒートバリア 2026 — 職場の熱中症対策最前線 —

地球温暖化の影響は、北海道でも例外ではありません。
本企画展では、実際に熱中症対策を実践している地元企業の具体的事例
をパネルで紹介するとともに、
最新の熱中症対策製品を併せて展示します。

農業！林業！水産業！まるごと安全対策ゾーン ～ 獣害、冰雪対策も！～

第一次産業（農業、林業、漁業）での労働災害対策製品をはじめ、
アーバンベア問題などの獣害対策製品や
冰雪による災害を防止するための製品を展示します。

7月13日（月） 来場登録受付開始予定！！